ＧＮＨ研究所　スタディツアーin 甲良町・北落　レポート

期間　：2012 年 11 月 9 日（金）～11 日（日）

場所　：滋賀県甲良町北落地区

参加者：11 名

目的　：①北落の魅力探索を通じ、GNH が感じられる町づくりのあるべき姿を学ぶ。
②外部者として感じた北落の魅力（=子供たちに伝えたい地域の宝物）を地元の方と共有することで、外部者と地元の方間での「いいもの」に対する視点の違いを体感する。

2012 年 11 月 9 日（金）

午前 10 時に JR 河瀬駅に集合。合計 11 名で、湖東三山（天台宗）西明寺へ向かう。紅葉が大変美しい時期で、綺麗に色づいた庭園を眺めながらの散策は癒し効果抜群だった。本堂に入り、寺宝（釈迦如来立像、十二神将など）の詳細のご説明をいただき、大変勉強になった。

昼食を近くの食堂でいただいた後は、甲良町立図書館へ。ここは、旧甲良東小学校本館として使われていたもので、建設当時日本一と言われたほど豪勢な総檜造りの趣深い建物である。館内には、作法室や裁縫室などがあり、当時の様子を伺い知ることができる。

また、館内の至る所には、町の歴史を感じさせるような展示物が大切に保管されており、旧東小学校として使用されていた当時の歴史を守りながらも、今は町内の幅広い年代の方々が心地よい音楽の流れる空間で本を閲覧できる、図書館としての新しい機能を備えている。短い滞在ではあったが、歴史ある建物の中での優雅な時間を過ごすことができた。

図書館を後にし、宿泊先である渋柿舎 七朗平邸（兼松江商の江商の創始者、野瀬七朗兵翁氏の邸宅）に移動し、各自自己紹介と、平山代表と草郷アドバイザーよりフィールドワークを行うにあたっての心構えについて、ブリーフィングいただく。

その後、甲良町の山田会員と地元北落の方々にご案内いただきながら町歩きをし、歴史的な背景も学ばせていただく。北落では、川のきれいなせせらぎが際立っていて、水を中心に町の生活があることが実感できた。道行く方々も、外部者である我々に対して気さくに声をかけてくださり、心がほっと温かくなる時間を過ごすことができた。

その後、町営浴場で休憩してから宿泊所に戻り、地元の方々との交流会に参加させていただく。交流会では、地元の方々が沢山集まって下さり、朝から出汁をとった美味しい鶏鍋を準備して下さるなど、私たちを温かく歓迎して下さるご配慮に触れ、大変嬉しく感じた。交流会では、町づくりにかける地元の方々の熱い情熱を感じることができ、有意義な時間であった。翌日になるまで宴会は続き、大いに盛り上がった。

西明寺庭園

甲良町立図書館

フィールドワークの様子

交流会の様子

2012 年 11 月 10 日（土）

7 時半起床。思いがけなくも、地元の方が私たちの為に温かい朝食を提供して下さった。お味噌汁、有機農法産の新米、お漬物が朝の身体に染み渡っていくのがわかる。

続く朝のブリーフィングでは、昨日のフィールドワークを通して得られた気づきを各自発表。その後、『笑顔で暮らせる豊かな農村をめざして』というテーマで、甲良町役場職員として長年町づくりに携わってこられた山田会員によるレポートを発表いただく。

この発表では、甲良町の町づくりに影響を与えた出来事や、町づくりの過程、住民参加型の町づくりが実現している背景を詳細にご説明いただき、より一層の甲良町への理解を深めることができた。

その後、2 チームに分かれて「子供たちに伝え続けたい地域の宝物を探す」という視点をもって、フィールドワークに出かける。視点を絞ることで昨日とは全く違った見方ができることに驚いた。私たちのチームでは、各家庭にお地蔵様が祀られていること、柿が至る所で見られることをポイントとして絞り、その背景について学びを深めた。

ハンバーグ屋さんでの美味しい昼食をはさみ、午後もフィールドワーク。夕方、町営浴場に行った後、山田会員より小 6 合宿（同和問題に関する学習会）にお誘いいただき、特別に見学させていただく事ができた。

この学習会では、地域に古くから根付いている部落差別問題について、地域の小学 6 年生が学び、話し合うというものであるが、「思いやりをもつこと」「目線を同じにすること」「競争ではなく協力すること」の大切さに気付く機会を得ることのできる、大変素晴らしい取り組みであると感じた。この学習会での学びによって、人の痛みを理解することのできる心優しい人が育まれ、お互いに協力しながら過ごせる環境が実現して行くのだと感じた。

学習会終了後は、美味しい親子丼の夕食をいただき宿舎に戻る。明日の朝に控えた地元の方々への「子供たちに伝えたい地域の宝物」の発表準備をチームごとに行う。模造紙にポストイットや、写真を貼り付けるなどの作業は夜が更けるまで続いた。

山田会員による発表

小 6 合宿の様子

2012 年 11 月 11 日（日）

いよいよ最終日。この日も 7 時半起床。昨日に続いて、地元の方が朝食をご提供下さり、朝からパワーをいただく。

8 時より、近くの安楽寺にて行われる日曜学校を見学させていただく。日曜学校での内容は、皆でお経を唱えた後ご縁さん（浄土真宗ではご住職とは呼ばないとのこと）のお話を聞いたり、道徳的な教えを盛り込んだ紙芝居を見るといった内容であった。

子供の頃から日曜学校で学ぶ経験はとても大きいと感じる。今後の人生で何かあった際には、善悪の判断基準をもって行動することができるだろうし、地域ぐるみで、地域の将来を担う子供を育成している様子が感じられた。都市部では、世代間の交流が少なくなりつつあるが、甲良町・北落地区でのこのような取り組みは本当に素晴らしいものであると感じる。

日曜学校を見学した後、宿泊所に戻る。いよいよ、外部者から見た「子供たちに伝えたい地域の宝物」について、集まって下さった地元の方々にチームごとに発表を行う。1 チーム目は、甲良町・北落の特徴

である美しい水の流れを人生に例え、人生の節目ごとに子供たちに伝えたい大切な宝物があることを発表し、もう 1 チームは、各家庭に大切に祀られているお地蔵様や、たわわに実った小縞柿（この柿は、土壌が適している為、北落で良く育つとのこと）をポイントとして挙げ、歴史を子供たちに伝承していくことの大切さや、柿に関しては活かす方法があるのではないかと発表を行った。

その後、地元の方が考える北落の宝物、私たち外部者が考える北落の宝物ベスト 3 を発表。地域の方々だからこそ理解している良い点や、外部者の新鮮な視点によって発見できる良い点があり、お互いにとって新たな気づきを得られる大変有意義な時間となったと感じる。その後、昼食をいただき米原駅にて解散となった。

3 日間という限られた時間ではあったが、地元の方々との交流、同和問題の学習会への参加、「子供たちに残したい地域の宝物」という視点で行われたフィールドワークなどを通じ、気づかされる点が多く、大きな収穫が得られたスタディツアーとなった。

日曜学校の様子

最終日ワークショップの様子

2012 年 11 月 9 日（金）		
10:00	安土駅改札口集合	各自集合
10:30	湖東三山　西明寺見学	
11:30	昼食	地元の食堂にて
12:30	甲良町立図書館（旧　甲良東小学校本館）見学	
13:30	オリエンテーション、平山代表　/　草郷アドバイザーによるブリーフィング	宿泊先　渋柿舎七朗平邸にて 内容: フィールドワークを行うにあたっての心構えについて
14:30	北落地区内フィールドワーク	地元の方々にご案内いただく
19:00	地元の方々との懇親会	
22:00	一旦終了、就寝	
宿泊：渋柿舎　七郎平（宿泊場所　TEL　0749－38－8047）※近江商人旧屋敷。		
2012 年 11 月 10 日（土）		
7:30	起床・朝食	
8:30	朝のブリーフィング	昨日のフィールドワークで得られた 気づきを各自発表
9:00	山田会員によるレポート発表	内容:笑顔で暮らせる豊かな農村をめざして
10:30	チームごとに話し合いの後、 北落地域内フィールドワークへ	「子供たちに伝えたい地域の宝物」という視点で、フィールドワークを行う上でのポイントを絞った上でフィールドワークに出発。
13:00	昼食	地元のハンバーグ屋さんにて
14:00	北落地域内フィールドワーク	
18:00	小 6 合宿見学	内容：同和問題に関する学び
20:00	夕食	彦根のお店にて
21:00	グループワーク	翌日の発表に備え準備
23:00	就寝	
2012 年 11 月 11 日（日）		
7:30	起床・朝食	
8:00	日曜学校見学	約 1 時間。安楽寺にて。
9:00	**【ワークショップ】** 子供たちに伝えたい地域の宝物	外部者から見た「子供たちに伝えたい地域の宝物」を地元の方々に発表。地元の方々の考える宝物についても共有いただき、互いに新しい発見を得る。
12:00	昼食・後片付け	
15:00	米原駅へ移動・解散	